

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	嬬恋村役場			代表者名	村長 熊川 栄
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	交流推進課	連絡先電話番号	0279-82-5191
担当者役職	主任	担当者氏名	植原 知之	連絡先E-mail	
住所	377-1524 群馬県嬬恋村大字鎌原494-45				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署			
担当者氏名	連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的な課題への支援	事業名	嬬恋村企業版関係人口創出事業	
概要	嬬恋村が抱える「人口減少と少子高齢化」、「若年層の村外流出と後継者不足」、「就労機会の不足」といった課題に対し、「多様な働き方」を考える場を設ける必要があり、その助言を求める存在として「地域情報化アドバイザー派遣制度」を活用し、嬬恋村の実情を反映した「新しい働き方のモデル」の導入を模索する。			
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 働き方			

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	797	令和7年12月19日	支援・助言	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年12月24日	事前打合せ&支援・助言（実地）	9時00分	17時00分	60
				活動時間（分）	420
2-2. 派遣場所	会場名	嬬恋村役場		最寄駅	大前駅
	所在地	群馬県吾妻郡嬬恋村大字大前110		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	上前 知洋
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったです等詳細に）	支援の話をする前に、嬬恋村の実情について第一にヒアリングする姿勢が良かった。実情を知った上で具体的な進め方についてのアドバイスをいただくことができ、次回までに当方で行うべきことが明確になった。
アドバイザーへの要望事項	当村では、新規事業に対して慎重に議論を進める傾向にあるため、想定よりも進みが遅くなることもあり得る旨ご承知おき願いたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	6人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
		人数	3	3

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	役場庁舎内の関係部署への連絡調整、連携体制が不十分であり、庁舎内での十分な理解を得る体制作りが必要である。併せて、次年度以降本事業の推進で必要となる予算等がまだ具体化されておらず、また予算計上に対する議会等への理解も今後必要である。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	嬬恋村における「ICTを活用した新しい働き方のモデル」の具体的なスキーム（案）の作成。それをもとに「新しい働き方の検討会」を開催し、役場庁舎内および庁舎外関係各所で機運醸成を図っていく。 また令和8年夏頃までに、「ICTを活用した働き方のモデルスキーム」を完成させ、令和8年度後半にモデルを基礎とした事業の試行および必要に応じて国等の補助金や地域活性化起業人等の制度活用を実施。
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	嬬恋村内にある人的・物質的資源（コワーキングスペースなど）の視察を通じた具体的な活用提案（ふるさと納税者への年間パスポート発行、嬬恋村外の企業誘致等に関するパッケージ提案など）。 当課で作成した「ICTを活用した新しい働き方のモデル」のスキーム（案）についての内容の手直しに関する助言（立科町で取り組まれた事業をもとに作成した「嬬恋村福祉型テレワークモデル（案）」の具体的な手直し）。

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	当課で作成した「嬬恋村福祉型テレワークモデル（案）」の内容をより嬬恋村の実情に合わせたものとして作成できた。また、視察を通じて村内コワーキングスペース、観光協会、商工会などの庁舎外の重要な拠点に対して、本事業の取組について説明し、協力関係の構築を進められた。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ①事業に係る計画書等を策定できた 役場庁舎内の関係各所と「新しい働き方の検討会」を実施するに際しての基礎資料となる「嬬恋村福祉型テレワークモデル（案）」を作成できた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	役場庁舎内関係者に対して、検討会実施に向け説明と理解を求める場を設置する。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回は視察と打合せが主目的であったため、アンケートは実施しなかった。
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい ④予算以外で、今後取組む事項がある 役場庁舎内関係者に対して、検討会実施に向け説明と理解を求める場を設置する。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	「嬬恋村福祉型テレワークモデル（案）」を素案とした嬬恋村に合った「新しい働き方モデル」を検討会を通じて作成し、実装および自走できる仕組みを構築する。

5. 報告書についての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

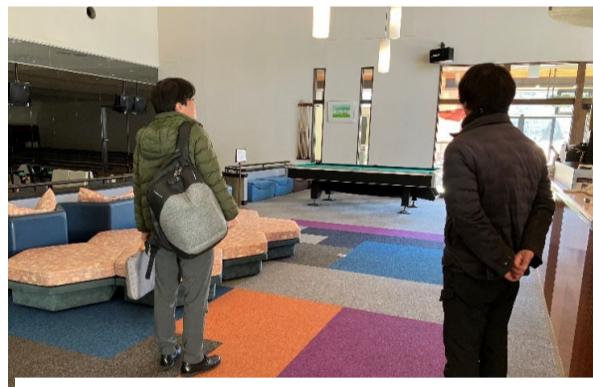
掲載許可 ○掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

なお「その他」を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。



村内コワーキングスペース(Asama Valley) 視察



嬬恋村商工会視察(担当者挨拶)



嬬恋村観光協会視察(事務局長ヒアリング)



嬬恋村交流推進課(支援会議)